

令和4(2022)年 No.1237

広報 **いせはら**

Public Relations Paper

主な記事

- 3 新型コロナワクチン追加接種(3回目)について
- 4 5 年初を彩る、和食を愛でる

1月1日

ISEHARA

12年に一度、

稚児が行く

日向薬師春季例大祭の稚児行列



二体の仁王像が並び立つ山門をくぐり、県の天然記念物に指定されているスダジイやモミ、ウラジロガシなどが多数生育している寺林の中を、本堂目指してゆっくりとした足取りで進む人々。ほら貝を吹き鳴らす山伏姿の修験者を先頭に、顔に化粧を施し、色鮮やかな衣装を身にまとった子どもたちが歩いて行きます。

日本三薬師に数えられる日向薬師では、本尊の薬師如来と縁が深い寅年に稚児行列が行われます。かながわのまつり50選の春季例大祭にあわせて実施している伝統行事で、平成22(2010)年には幼児から小学生までの74人が参加しました。令和4(2022)年の干支は壬寅。「陽気を孕み、春の胎動を助く」という意味があり、厳しい冬を乗り越えて春の芽が吹き始め、成長の礎となる年になることが期待されます。

市制施行から50年間にわたり築き上げてきた歴史を、次の世代へ継承すべく、新たな時代への歩みが始まります。◇8面では、日向薬師で開催中の宝城坊宝殿特別展覧会について紹介しています
☎教育総務課 画74-5109

開山1300年と平成の大修理によって、修復された本堂落慶を記念して平成29(2017)年に行われた稚児行列